

木材コーディネーター基礎講座2023 受講者募集

建築・家具・インテリアを森とつなぐ 企業所属の木材コーディネーター

Aさん 大手建材メーカー勤務20年 木質建材開発を担当

家具やインテリア用の木質建材を開発している企業で、国産材の活用を担う部門に従事。森づくりに意欲的な全国の林業地とコラボした商品企画を担当しています。建築家・デザイナーに売り込む戦略立案に取り組む中で、森づくりへの賛同者を増やす活動にも関心を持ちました。魅力的な空間づくりと持続可能な林業経営を結び、本物のSDGsの実践が目標です。

Q なぜ基礎講座に参加しましたか？

A 木材の活用が日本の森づくりにどのように貢献するのか考えるきっかけが欲しかった。

Q 何が手に入りましたか？

A 林業・木材産業・建築など多種多様な専門性を持った全国各地の仲間とのネットワーク。

Q 何が変わりましたか？

A 木材のルーツである森をイメージできるようになりました。

Q これからの目標は？

A 新しい発見に必ず巡り合える森に一人でも多くの建築家やデザイナーをお誘いしたい。



持続的な森づくりの基礎を学び 篤林家向けの 森林経営管理サービス会社を起業

Cさん 森林組合から独立した森林施業プランナー

手入れを繰り返し何代にも渡り森を受け継いできた林家を支援する会社を立ち上げました。高付加価値化が期待される立木と、木材ニーズの仲立ちのためにも、的確な立木・原木価値の評価が必要でした。講座では、篤林家向けの森林管理サービスが未開拓であることを改めて確認し、異業種連携で取り組む可能性に気付けたことは、とても大きな収穫でした。

Q なぜ基礎講座に参加しましたか？

A 独立開業に向けて、原木のその先を知りたかった。

Q 何が手に入りましたか？

A 「木使いのニーズとつながる森林経営」という新しい視点が手に入りました。

Q 何が変わりましたか？

A 森林所有者への収益還元には、木材の製造流通との連携が不可欠であることを痛感しました。

Q これからの目標は？

A 山主が、森の価値を自信を持って次の世代につなげられるサービスを提供したい。



木材コーディネーター
基礎講座を受講したら…

森と木と暮らしをつなぐ仕事

が見えてきた！

地域産木材のブランディングと サプライチェーンをコーディネート

Bさん 総合木材商社勤務28年 木材販売部部長

地域の中核となる総合木材商社に勤務し、長らく輸入材を中心に製造流通に従事してきました。近年、地域材に目を向け経営方針を転換しています。数年前に県行政から依頼で、非住宅建築物をターゲットにした県産材のサプライチェーン構築にも関わり始めました。県行政や業界団体と連携して、素材生産、原木市場、製造工場のネットワーク強化と、建築設計者や施工者に県産材の供給情報の提供に取り組んでいます。

Q なぜ基礎講座に参加しましたか？

A 取扱商品が輸入材から国産材に一気に変化する中で、商材のルーツである森林管理や素材生産にも一定の理解が必要だったから。

Q 何が手に入りましたか？

A 林業の課題を知るだけでなく将来のビジネスチャンスにも気づけました。

Q 何が変わりましたか？

A 建築から林業まで異業種間の言葉を翻訳して伝える「通訳」のような役割を担えるようになりました。

Q これからの目標は？

A 会社の枠を超えて、地域の需要と木材供給体制をつなぐ役割を担っていきたい。



こどもの空間設計と遊具デザインを強みに 魅力的な木の空間を生み出す 木材コーディネーター

Dさん 建築士事務所を共同主宰する一級建築士

東京に建築設計事務所を独立開業して5年、保育園やこども園の仕事を中心に全国のプロジェクトに関わっています。クライアントの要望で木造の保育園に取り組んだことで国産材に興味を持ち、こどものための家具や遊具のデザインにも取り組んでいます。木材を個性のある建築材料として見直し、今後「木の保育園」に特化した提案を展開すべく、森林林業や木材産業を連携した、魅力ある空間デザインで木材に付加価値を生み出すコーディネートにもチャレンジしています。

Q なぜ基礎講座に参加しましたか？

A どこに行けば木材が手に入るのか。誰に聞けば本物に巡り合えるのかと疑問を抱えていた時に、講座を知りました。

Q 何が手に入りましたか？

A 人工林には、歴史や気候風土ごとに様々な特徴と、森づくりを担う人の関わりがあることに気づけました。

Q 何が変わりましたか？

A 森づくりが相手にする時間や空間の広がりを知り、建築のスケールとは異なる「木づかい」の意義を理解が深まりました。

Q これからの目標は？

A 全国の木材産地と子供の空間をつなぐ、木材コーディネーターの肩書をもつ建築家を目指したい。

